

目次

粟津駅前商交祭	1
わが商店街(まち)のお宝物	2
納涼夏まつり～アロハフェスティバル～(金沢市) 商店街の匠と市民のふれあい(小松市)	
「商店街をギャラリーに～一本杉通り五十一燈の物語」(七尾市)	3
武蔵商店街振興組合(金沢)から～まちづくり活性化講習会へのおさそい～ 県振連セミナーのご案内～商店主婦講座～	
イベントのおさそい	4
「産学連携による商店街づくり」～全振連職員研修から	

編集発行 石川県商店街振興組合連合会
〒920-0918 金沢市尾山町9番13号(金沢商工会議所内)
TEL (076)222-8779 FAX (076)222-8779

県振連メールアドレス
isirengo@sky.hokuriku.ne.jp
商店街賑わい創出に関する掲載原稿、
ご意見、ご感想などお待ちしております!

本誌は環境保護のため再生紙を使用しています

粟津駅前商交祭

8月7日・8日の二日間、第60回粟津駅前商交祭を開催しました。商交祭の内容は、二日間とも夕方から夜にかけて、地元の幼稚園・保育園の発表や小学校のプラスバンド演奏、YOSAKOIソーラン演舞、カラオケ選手権、芸能人の歌謡ショーなどを毎年行っています。

今年は60回目の節目ということで、例年より内容を少し充実させて行ったところ、小松市内のみならず加賀市や他の地域からも多数のご来場をいただきました。

この粟津駅前商交祭は、終戦の翌年、昭和21年に始まりました。私たちの会の発足も昭和21年であり、当初の発足の目的は、金融機関の融資制度が整っていない状況下で金銭的な相互扶助が目的だったと伝えられています。そのような自分たちも決して豊かといえないなかで、暗い戦後の世相にいる地元の人たちに楽しみの機会を作ろうと、地域の発展を祈りながら第1回目の商交祭を行ったと思っています。

商交祭の2日間、多くの子供たちも訪れてくれました。発表を終えた幼稚園・保育園の園児たちが、親に手を引かれながら祭を楽しむ姿を見て、この子供たちの親にも、そのまた親のおじいさんおばあさんにも、同じように手を引かれてこの祭に来た記憶のある人たちがいると思ったときに、改めて60年の重みと、

私たちの会とこの地域とのかかわりの深さを感じました。

これからの高齢化が進む社会のなかで、我々の商店街にとって大切なことは地域との深いかかわりであり、より住みやすい地域とするための機能の強化をはかることではないかと思っています。この商交祭を始め、そして引き継いできた我々の先輩方のこの地域への思いをもう一度噛み締めて、より地域に根ざした商店街活動を行っていきたくと思っています。



子供達が集まる出店



粟津保育園児の遊戯

粟津駅前商交会
会長 西村 健一

わが商店街(まち)のお宝物

石引商店街振興組合40周年記念

納涼夏まつり～アロハフェスティバル～(金沢市)

第29回石引夏まつりは「アロハフェスティバル」と銘打って、8月5日(金)暑い中、商店街役員、おかみさん会会員一同がアロハシャツを着て下馬地蔵広場にて、青空市、屋台村、ゲームなどをお客様を迎えました。

オープニングが地元の若者達で構成されたバンド演奏だったためか、例年になく中・高生など若者のグループが早くから会場に集まり、メインの“フラ・ショー”には講師の森川厚子さんの門下生を含む30人近くの方々がショーを飾り、会場は座りきれない人達で賑わいました。男和太鼓がエンディングを締める頃には涼風もそよぎ、是に石引の熱い1日が終わりました。

本年は、商店街振興組合発足より40年、町会誕生より90年ということで町会全世帯に「夏まつりお楽しみ券」を進呈して楽しんでいただき、商店街の厳しい環境、町会の少子高齢化、共に今ががんばりどころと心引き締る1夜でもありました。



納涼夏まつり
～アロハフェスティバル～

石引商店街振興組合 理事長 平野 久史



若手会「ゲーム」コーナー



ふたば会「青空市場」

商店街の匠と市民のふれあい (小松市)

小松は古くからモノづくりの盛んな地域であり、伝統工芸産業等各方面に多くの高度技能者・職人を輩出する歴史と文化が有りながら、近年の急速な技術の進歩や世の中のスピード化・便利さの追求等により精神的なゆとりや独自性、また、地域固有の伝統技術やその継承者も減少の一途をたどっています。

そこで、長い歴史や先人たちの努力により築かれたモノづくりの町・匠の町小松を再認識し、次の世代に向けて発信し、賑わいのある元気な町小松を目指すため、駅前の中心商店街を舞台に「こまつ“匠の市”」を開催しています。

一昨年より始めた“匠の市”は、これまでに10回を数え、地場産品や各種伝統工芸品、商店街の酒屋、乾物店、化粧品店、紙店、カバン店等様々な業種より様々な匠による実演や販売・体験等もあり、市民の手作り品やフリーマーケット、骨董市などで賑わっています。

次回予定は、10月9日(日)となっており、昨年好評であった県立小松商業高校生徒による「小商フェスティバル」や小松市勤労青少年ホーム祭も開催されます。

商店街各店にとっても新規顧客獲得のチャンスが増えるため、今後も市民はもとより市内外に向けてモノづくりの町小松を発信しながら、街の活性化を目指して行きたいと思えます。

小松中心賑わい連合会
企画実行委員長 島村 敏行

“匠の市”フードコーナー
▼(平成16年10月)



小商フェスティバル▲
(平成16年10月)

「商店街をギャラリーに～ 一本杉通り五十一燈の物語」～銀河鉄道の夜 編～ (七尾市)

七尾市の一本杉通り振興会は、昨年度に完成した石燈の街路灯を活用した「一本杉五十一燈の物語」と題したイベントを7月18日から8月19日まで実施した。

これは、1年を通じて商店街をギャラリーにしようという考えから、今回は街路灯に影絵幻燈を施した。影絵の題材は、宮沢賢治の有名な「銀河鉄道の夜」から抜粋した文章をアレンジしたもので、夕方から夜に來街するお客様の目を楽しませていた。

この他、各店頭でも、夏らしい演出をそれぞれ工夫して、商店街の賑わいづくりとおもてなしを実践していた。

一本杉通り振興会



石燈影絵

武蔵商店街振興組合(金沢)から～まちづくり活性化講習会へのおさそい～

- 1 日時 平成17年10月28日(金) 午後7時から
- 2 ところ ITビジネスプラザ武蔵 5F研修室 (金沢市武蔵町14-31)
- 3 講演 元気の出るまちづくり<ふくろう通り界隈>
RIA (まちづくり計画・設計コンサルタント会社) 東京支社
計画第二部長 米澤 佳人 氏
- 4 お問い合わせ・お申込み
武蔵商店街振興組合
金沢市武蔵町14-31 ITビジネスプラザ武蔵 5F
電話 076-231-4831

今年度、朝市・緑日では、「ふくろう通り」の老舗料理店主による旬の素材を使った料理を披露、「グルメ街道」としてPR。「ふくろう通り」の活性化のシンボルとしてえんじ色の大型上り旗を制作するなど、地域が一体となってまちなか活性化にむけてがんばっています。今回は、まちなかの更なる活性化に向けて、まちづくり専門講師によるその方策を学びます。商店街・商店の活性化の参考に、ぜひご参加を!

県振連セミナーのご案内～商店主婦講座～

“女性が輝く時代” 真っ盛り。やる気・元気のおかみさんパワーで商店街・商店を活性化しましょう。

魅力ある店づくりへのこだわりの第1ランキング「顧客との信頼関係」。大型店と差別化が発揮できる対面販売の長所を最大限生かし、大型店に満足しない顧客のこころを捉えるための新しい接客マナーを学んでみませんか。

- 日時 平成17年11月17日(木)午後2時～18日(金)
- 会場 加賀市山代温泉「瑠璃光」
- 参加対象 商店主婦、女性スタッフ及び関係団体女性役職員
- テーマ 「お客様満足度向上への提言～新しい接客マナーについて～」
- 講師 宮田 雅美氏 (金沢ビジネスエアアカデミー学院長)
- 受講料 16,000円 (交流会・宿泊料含む)
交流会までの方は13,000円
講演会のみの方は 2,000円
- 日程 11月17日(木) 14:00 開講
14:05～15:35 講演
15:50～16:50 グループ・ディスカッション
18:00 交流会
11月18日(金) 朝食後解散



お問い合わせ 石川県商店街振興組合連合会
電話 076-222-8779

全国大会というイベントを誘致した集客のあり様を、商店街活性化策の方法としてぜひ現地勉強してみたいかがでしょう。

- 1 日時 平成17年11月8日(火) 9日(水)
- 2 場所 輪島市文化会館、輪島商工会議所、ふらっと訪夢
- 3 内容
 - ・特別対談
コーディネーター 法政大学経営学部 松島 茂教授
パネリスト 石川県知事、桑島全振連理事長、小田加賀屋会長 外
 - ・分科会 商店街活性化・まちづくりセッション等。青森市新町商店街(振)の加藤常務理事をはじめまちづくり専門家のコーディネーター、パネリストによる成功事例の情報交換等。
 - ・総括講演 中小企業庁 商業課長 横山典弘氏
 - ・スタンプラリー「輪島・まちめぐり」事業。輪島市の観光目玉「朝市」や「輪島塗」等の土産・物産等の買い物、飲食等をともし輪島の良さを全国に広くアピールする。

◇お問い合わせ 輪島市商店連盟協同組合 電話 0768-22-7515

商店街イベント・行事

商店街名	イベント名称	日時	場所	内容
金沢	香林坊 片町 堅町 広坂 柿木晶	10月 8日(土) 9日(日) 10日(月)	各商店街 中央公園	各商店街で様々なイベントが用意されているほか、中央公園では、次のコンテストが行われる。 1日目 MUSICオーディション 2日目 STREET DANCE CONTEST 3日目 UNDER THE 18ビックリPERFORMANCE 特に3日目は、幼稚園児から18歳までの才能あふれる超・若者による一発芸が披露される。
				5 TOWNS FESTA
七尾	中央通り	10月 23日(日)	中央通り 商店街	七尾の作事町を中心に豊漁と魚に感謝する糸びす講まつりは、港と魚につながる七尾の食文化を語る上で、大事な伝統行事である。商店街としてもこのまつりに協賛し、市の賑わいで市民を集めると共に七尾の食文化を発信していくことを目指す。各商店の出店による市、鮮魚のさばき方実演、魚切り身提供、糸びす講まつりのPR等。
	東部	10月 30日(日)	長福寺	お寺を会場とすることで昔ながらのコミュニティーとしての場を発信し、七尾の歴史・文化に触れる機会を提供する。講演会、竹とんぼ作り、アロマハンドマッサージ、茶道体験などを実施する。
		年末年始まちなか装飾2005	12月1日～ 2月28日	東部商店街
一本杉通り	秋の大市まつり	11月 3日(木)	一本杉通り 商店街	光徳寺の報恩講の門前市がルーツといわれる秋の大市は文化の日の風物詩として親しまれている。門前市の雰囲気復活するとともに商店街の賑わい創出を目指す。

◇「産学連携による商店街づくり」～全振連職員研修から

平成17年6月16日(木) 東京都千代田区主婦会館で、名古屋学院大学経済学部政策学科 水野晶夫教授による「産学連携による商店街づくり」と題したシンポジウムがあり、成功事例として次の二商店街が紹介された。

①瀬戸市銀座通り商店街振興組合(山内理事長)

昭和47年ユニーが尾張瀬戸駅前に移転。核店舗を失った商店街は、序々に衰退していく。8年前に万博誘致の決定があった。テレビ局から「老人が多い街、暗い街、万博は大丈夫?」といわれ、若手・女性部が燃え上がった。空き店舗を利用し大学生とイベントを実施したところ、めずらしい事例で面白いとマスコミで取り上げられ、来街者の増加に効果があった。万博終了後が問題であるとして、一昨年から一店逸品運動を進め、現在8品目(石焼うなぎまぶし丼、陶遊膳、陶都の香り、赤津七軸セット、癒しの陶珠、帆前掛け、あさぶら、ろくろ座布)を「せと銀座の逸品」としている。また「銀座マイスター」の認定も始めており、物・人の逸品運動を推進するなど、商店街・名古屋学院大学のまちづくりNPO法人が一体となった「ぎんざ・まちネット」による街おこしを推進している。

②東京都練馬区栄町本町通り商店街振興組合(秋山理事長)

平成12年度東京都、練馬区の補助金で3か年にわたって「消費者懇談会」が行われた。参加者から縁あって「江古田」で学ぶのだから「江古田」に恩返しができないか、活気ある街にできないか、との声があり中小企業診断士辻氏を中心に「江古田計画」というグループが生まれた。年2回「アートマーケット」を開催している。イベントをともし信頼関係が生まれ、複合的な産学連携により持続可能な取り組みがおこなわれている。

- ・ファミリーコンサート(武蔵野音楽大) ・シャッターペイント事業(日大芸術学部)
- ・江古田ナイトバザール(演劇・芝居、学生車屋、チャリディング、吹奏楽、戸田龍鬼太鼓愛好会、地域の方による練馬産野菜の即売など)
- ・コミュニティビジネス研究会(武蔵大による出店)

なお、全振連では、「地域社会における産学連携による商店街づくり(平成16年度商店街近代化研究会報告書)」(17年3月刊)として、全国14の連携事業が紹介され、その活動内容を類型化し、具体的な働きかけの手順から始まり事業内容、今後の課題・方向を簡潔に要約。